

## ①【業務量の精選・削減について】

- 前年度の踏襲ではなく、さらに精選を進める必要がある。  
(30代・女性・小学校教諭)
- 仕事があるのに、定時退校日に定時で退校しなければいけない。仕事が減らずに時間だけ削るのは難しい。  
(30代・男性・小学校教諭)
- 定時退校やワークライフバランスに理解がある雰囲気が出てきて、そこは良いと感じる。しかし、持ち帰り業務もあるのでさらに改善を進めて欲しいと思う。  
(20代・女性・特別支援学校教諭)
- 多忙化改善のもと、勤務時間の削減のプレッシャーが大きい。時間外勤務時間が長ならないよう、仕事を家でする等気遣いしている。  
(50代・女性・中学校教諭)
- 管理職や市教委がさらに思い切って決断していかなければ、学校内の仕事量はこれ以上変わらない。それぞれの教員の工夫や努力で改善できる段階ではなく、健康と家庭を犠牲にしながら働くのは辛い。  
(30代・男性・小学校教諭)
- これまでの取組で、ある程度の削減は達成できてきたと思うが、最近では下げ止まっていると思う。新しい業務が増えつつあり、削減されるものがなければ、元の状態に戻るのではないかと心配である。  
(50代・男性・高校主幹教諭)
- 同じ報告なのに、書式が異なるため、市、県、国と3つ作成しなければならないことや、同じような内容の報告なのに保健、生徒指導、教育相談などそれぞれの担当が提出しなければならない報告もまだある。さらに改善をお願いする。  
(30代・女性・中学校教諭)
- 調査や報告など、削減可能なものはまだまだある。調査等を減らしてほしい。  
(30代・女性・小学校教諭)
- 教育委員会からの文書、メール削減にさらに取り組んでいただきたい。  
(50代・男性・高校教頭)

## ②【外部人材の活用について】

- スクールカウンセラーの方がいるようになって、助かっている。仕事を少しでもサポートしてくれている方がいると有り難い。  
(30代・女性・小学校教諭)
- サポートスタッフが多いと、子どもに向き合う時間の余裕ができる。支援員やスクールサポートスタッフは有り難い。安全面も含めて助かる部分が多いと感じる。さらなる充実を望む。  
(50代・女性・小学校養護教諭)
- 今後、部活動の地域移行化が進むと思うが、これにより、教材研究をはじめとする校務に、より時間を使うことができるようになると思う。  
(40代・男性・中学校教諭)
- 部活動に関しても地域が担っていくべきだと考える。R5から地域に移行していくことになっているが、現状だと難しいと思う。  
(30代・男性・中学校教諭)
- 給食費などの集金業務を教員から外し、授業など教員本来の業務に集中できるようになるとよい。  
(50代・女性・中学校教諭)

## ③【校務のICT化について】

- 校務支援システムの導入やICT化をもっと進めることでさらに改善につながると思う。  
(50代・男性・小学校教頭)
- 校務支援システムの導入により、他の学校に異動しても前の勤務先と共通のシステムを利用することができれば、業務能力が上がると思う。  
(50代・男性・中学校教頭)

## ④【コロナ禍で見えてきたことについて】

- コロナ禍で出張が精選されていることは良い。出張せずに、リモートやオンラインでも差し支えないものが多いことが分かった。  
(50代・女性・中学校養護教諭)
- コロナ禍で、今までやっていたけど、やらなくても何とかできる事が見えてきたと思う。これを機に削減できることは削減するべきである。  
(30代・女性・小学校教諭)

## ⑤【今後の多忙化改善全般について】

- 管理職ができること、例えば行事の精選、日課の改善、ICTの活用等、今後も常に意識していくべきだと思っている。また、教諭に業務の精選や終了時刻の意識化等について助言することで、もう少し意識を高め改善できると思う。  
(50代・女性・小学校校長)
- 職員全員が意識して、取り組まないと目立った改善は望めない。今までと同じことをしていたら、業務は増えることはあっても減らないと思う。  
(50代・女性・中学校教諭)
- こうした意識調査により、現場で働く教諭の意見をきいてくれることは嬉しい。どうか、自分の子どもに寂しい思いをさせず、ニコニコと働けるようにしてほしい。  
(30代・女性・小学校教諭)
- 改革は進んだが、日は浅く、一時の熱さにとどまらず、多忙の本質に到達し、総括が成し遂げられてのスタートだと思う。  
(50代・男性・中学校教諭)
- 今年度、管理職の先生が多忙化改善という点で様々な提案をしてくれた。自分は幼い子どもがいるので、理解してもらいたい。自分もできることを実践して多忙化改善を進めていきたい。  
(30代・女性・中学校教諭)

## ⑥【定数改善について】

- 教員数を増やしてほしい。  
(60代以上・男性・特別支援学校教諭)
- 業務が多様化しているので、教職員の数を増やしてほしい。  
(40代・女性・小学校教諭)
- 教員定数を増やすことが急務。人員を増やすことで時間に余裕が生まれる。時間に余裕が持てることで自ら研修しようという意欲が生まれる。  
(50代・男性・中学校教諭)
- 一人当たりのクラスの生徒数がまだまだ多い。きめ細かい指導が求められるのであれば、クラスの生徒数を減らすか、教員数を増やすしかないと思われる。実現のためにはいろいろなところでハードルが高いが、定数改善は継続的に要望していただきたい。  
(30代・男性・高校教諭)